



機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の警告および機能情報については、『[Bug Search Tool](#)』およびご使用のプラットフォームとソフトウェア リリースに対応したリリース ノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このモジュールの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

- [Flexible NetFlow NetFlow V5 エクスポート プロトコル, 1 ページ](#)

Flexible NetFlow NetFlow V5 エクスポート プロトコル

Flexible NetFlow NetFlow V5 エクスポート プロトコル機能は、バージョン 5 エクスポート プロトコルを使用したエクスポート パケットの送信をイネーブルにします。

この機能のサポートは、Cisco 7200 および 7300 ネットワーク処理エンジン (NPE) シリーズルータ用として、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE で追加されました。

Flexible NetFlow NetFlow V5 エクスポート プロトコルの制約事項

- Cisco IOS Release 12.4(22)T で最初に導入された NetFlow バージョン 5 エクスポート プロトコルは、Flexible NetFlow の事前定義済みレコード (NetFlow-Original、Original Input、および Original Output) を使用するフロー モニタに対してのみサポートされます。

Flexible NetFlow NetFlow V5 エクスポート プロトコルについて

Flexible NetFlow V5 エクスポート プロトコルの概要

この機能は、バージョン 5 エクスポート プロトコルを使用したエクスポート パケットの送信をイネーブルにします。

Flexible NetFlow NetFlow V5 エクスポート プロトコルの設定方法

フロー エクスポートの設定

フロー エクスポートを設定するには、次の必須作業を実行します。



(注) フロー エクスポートごとに、1 つ宛先のみがサポートされます。複数の宛先にデータをエクスポートする場合は、複数のフロー エクスポートを設定してフロー モニタに割り当てる必要があります。

IPv4 または IPv6 アドレスのいずれかを使用して宛先にエクスポートできます。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **flow exporter** *exporter-name*
4. **description** *description*
5. **destination** {*ip-address* | *hostname*} [**vrf** *vrf-name*]
6. **export-protocol** {**netflow-v5** | **netflow-v9** | **ipfix**}
7. **dscp** *dscp*
8. **source** *interface-type* *interface-number*
9. **option** {**exporter-stats** | **interface-table** | **sampler-table** | **vrf-table**} [**timeout** *seconds*]
10. **output-features**
11. **template** *data* **timeout** *seconds*
12. **transport** **udp** *udp-port*
13. **ttl** *seconds*
14. **end**
15. **show flow exporter** *exporter-name*
16. **show running-config flow exporter** *exporter-name*

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例 : Device> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例 : Device# configure terminal	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	flow exporter exporter-name 例 : Device(config)# flow exporter EXPORTER-1	フロー エクスポートを作成し、Flexible NetFlow フロー エクスポート コンフィギュレーションモードを開始します。 • このコマンドでは、既存のフロー エクスポートを変更することもできます。
ステップ 4	description description 例 : Device(config-flow-exporter)# description Exports to the datacenter	(任意) コンフィギュレーションおよび show flow exporter コマンドの出力に表示されるエクスポートの説明を設定します。
ステップ 5	destination {ip-address hostname} [vrf vrf-name] 例 : Device(config-flow-exporter)# destination 172.16.10.2	エクスポートの宛先システムの IP アドレスまたはホスト名を指定します。 (注) IPv4 または IPv6 アドレスのいずれかを使用して宛先にエクスポートできます。
ステップ 6	export-protocol {netflow-v5 netflow-v9 ipfix} 例 : Device(config-flow-exporter)# export-protocol netflow-v9	エクスポートで使用する NetFlow エクスポート プロトコルのバージョンを指定します。NBAR から抽出されたフィールドのエクスポートは IPFIX でのみサポートされています。 • デフォルト値 : netflow-v9 。
ステップ 7	dscp dscp 例 : Device(config-flow-exporter)# dscp 63	(任意) エクスポートによって送信されるデータグラムの Diffserv コードポイント (DSCP) パラメータを設定します。 • 引数 <i>dscp</i> の範囲は 0 ～ 63 です。デフォルト : [0]。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	source interface-type interface-number 例 : Device(config-flow-exporter)# source ethernet 0/0	(任意) エクスポートで、エクスポートされたデータグラムの送信元 IP アドレスとして IP アドレスを使用するローカル インターフェイスを指定します。
ステップ 9	option {exporter-stats interface-table sampler-table vrf-table} [timeout seconds] 例 : Device(config-flow-exporter)# option exporter-stats timeout 120	(任意) エクスポートのオプション データ パラメータを設定します。 • 3 つのオプションを同時に設定できます。 • 引数 <i>seconds</i> の範囲は、1 ～ 86,400 です。デフォルト値 : 600。
ステップ 10	output-features 例 : Device(config-flow-exporter)# output-features	(任意) Quality of Service (QoS) と暗号化を使用したエクスポート パケットの送信をイネーブルにします。
ステップ 11	template data timeout seconds 例 : Device(config-flow-exporter)# template data timeout 120	(任意) タイムアウトに基づいてテンプレートの再送信を設定します。 • 引数 <i>seconds</i> の範囲は、1 ～ 86400 です (86400 秒 = 24 時間)。
ステップ 12	transport udp udp-port 例 : Device(config-flow-exporter)# transport udp 650	エクスポートされるデータグラムを宛先システムが待機する UDP ポートを指定します。 • 引数 <i>udp-port</i> の範囲は 1 ～ 65536 です。
ステップ 13	ttl seconds 例 : Device(config-flow-exporter)# ttl 15	(任意) エクスポートによって送信されるデータグラムの存続可能時間 (TTL) 値を設定します。 • 引数 <i>seconds</i> の範囲は 1 ～ 255 です。
ステップ 14	end 例 : Device(config-flow-exporter)# end	フロー エクスポート コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 15	show flow exporter <i>exporter-name</i> 例 : Device# show flow exporter FLOW_EXPORTER-1	(任意) 指定されたフロー エクスポートの現在のステータスを表示します。
ステップ 16	show running-config flow exporter <i>exporter-name</i> 例 : Device# show running-config flow exporter FLOW_EXPORTER-1	(任意) 指定されたフロー エクスポートの設定を表示します。

Flexible NetFlow NetFlow V5 エクスポート プロトコルの設定例

例：バージョン 5 エクスポートの設定

次の例は、Flexible NetFlow に対するバージョン 5 エクスポートの設定方法を示しています。
この例は、グローバル コンフィギュレーション モードで開始します。

```

!
flow exporter EXPORTER-1
 destination 172.16.10.2
 export-protocol netflow-v5
 transport udp 90
 exit
!
flow monitor FLOW-MONITOR-1
 record netflow ipv4 original-input
 exporter EXPORTER-1
!
ip cef
!
interface Ethernet 0/0
 ip address 172.16.6.2 255.255.255.0
 ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input
!

```

その他の関連資料

関連資料

関連項目	参照先
Cisco IOS コマンド	『Cisco IOS Master Command List, All Releases』

関連項目	参照先
Flexible NetFlow の概念情報および設定作業	『Flexible NetFlow コンフィギュレーション ガイド』
Flexible NetFlow コマンド	『Cisco IOS Flexible NetFlow Command Reference』

標準/RFC

標準	タイトル
この機能によりサポートされる新規または変更された標準/RFC はありません。	—

MIB

MIB	MIB のリンク
なし	選択したプラットフォーム、シスコソフトウェア リリース、およびフィチャセットの MIB を検索してダウンロードする場合は、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのサポートおよびドキュメンテーション Web サイトでは、ダウンロード可能なマニュアル、ソフトウェア、ツールなどのオンライン リソースを提供しています。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。	http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html

Flexible NetFlow NetFlow V5 エクスポート プロトコルの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1 : Flexible NetFlow NetFlow V5 エクスポート プロトコルの機能情報

機能名	リリース	機能情報
Flexible NetFlow : NetFlow V5 エクスポート プロトコル	12.2(33)SRE 12.2(50)SY 12.4(22)T 15.0(1)SY 15.0(1)SY1 Cisco IOS XE Release 3.1S	バージョン 5 エクスポート プロトコルを使用したエクスポート パケットの送信をイネーブルにします。 この機能のサポートは、Cisco 7200 および 7300 ネットワーク 処理エンジン (NPE) シリーズ ルータ用として、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE で追加されました。 次のコマンドが導入されました。 export-protocol 。

